

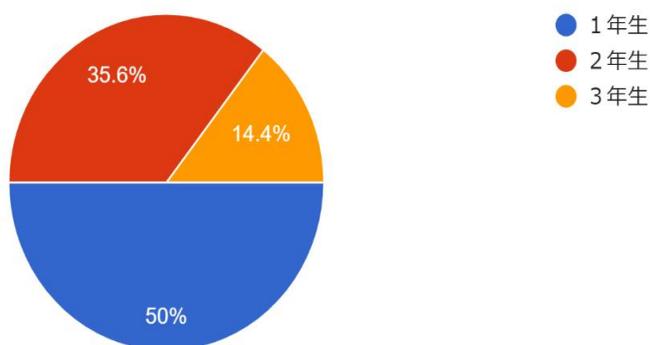
＜部活動＞保護者用アンケートの結果について

令和3年11月に実施した保護者アンケートは、ご協力ありがとうございました。結果を取りまとめましたので、みなさんに報告いたします。いただいた結果を基に、今後の部活動の取組に活かしてまいります。

なお、在籍生徒178人のうち保護者の回答は90件でした。(回答率50.56%)

子どもさんの学年は？

90件の回答

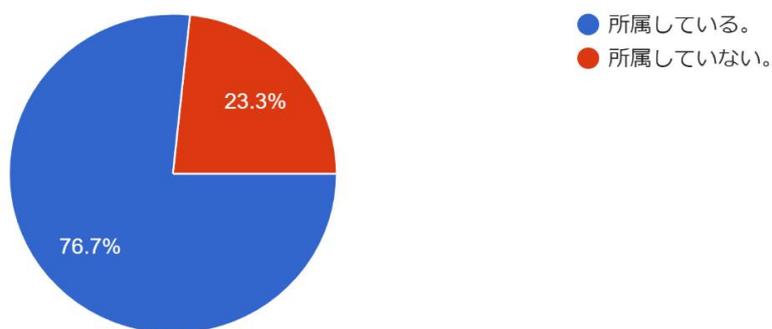


問1 子どもさんの学年は？

1年生45、2年生32、3年生13であった。

部活動に所属していますか？

90件の回答



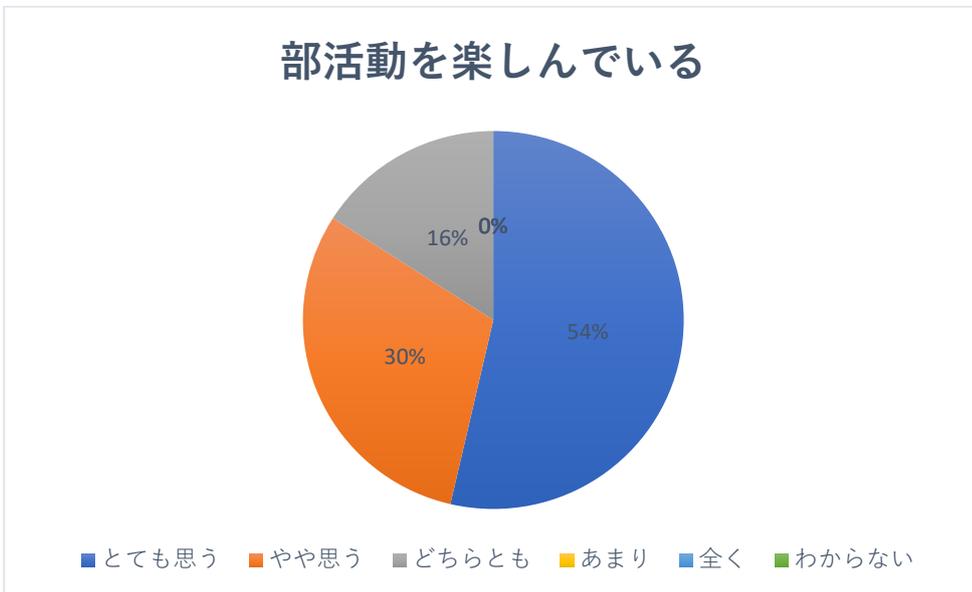
問2 部活動に所属しているか？

所属している69(76.7%)、所属していない21(23.3%)であった。4分の3は部活動に所属しているようだ。なお、生徒へのアンケートの結果では、159人中118人が部活動に加入していると回答しており、その割合は74.2%で、保護者も生徒もほぼ同じ割合になっている。

保護者から見た子どもさんについて

問3 各項目において、保護者の気持ちに一番近いものは？

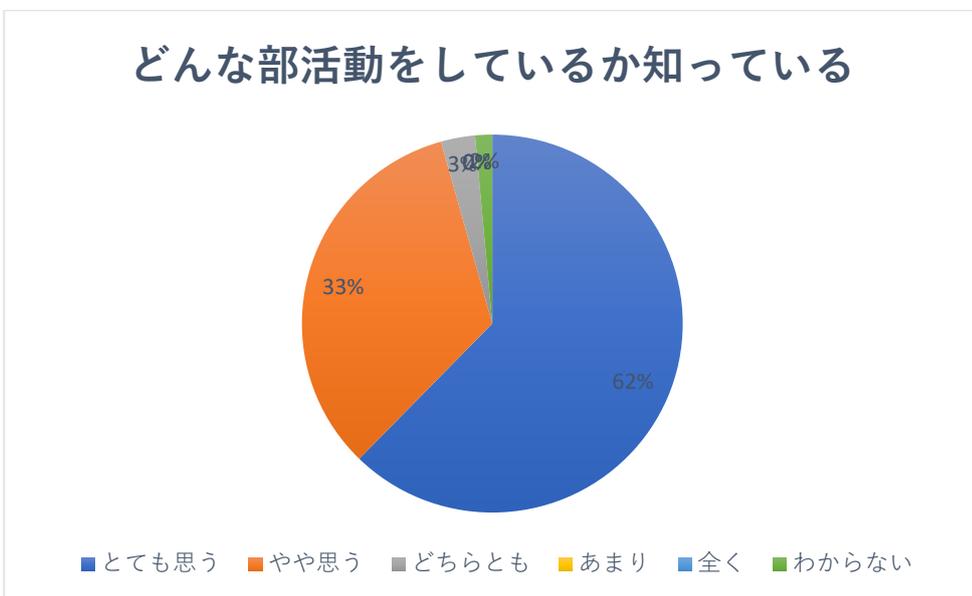
回答数は69件であった。以下の表記は、とても思う＝「とても」、やや思う＝「やや」、どちらともいえない＝「どちらとも」、あまり思わない＝「あまり」、全く思わない＝「全く」、わからない＝「わからない」とする。



(1) 部活動を楽しんでいる

とても 37、やや 21、どちらとも 11

子どもたちが「部活動を楽しんでいる」と感じている保護者は84%を占めた。

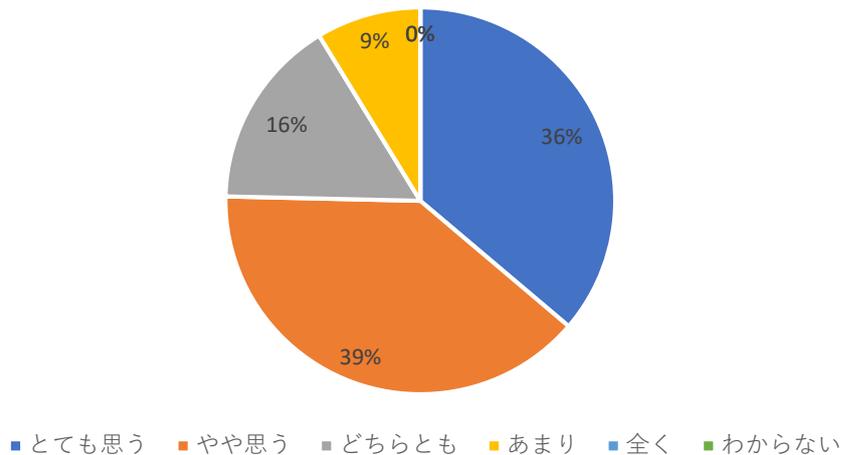


(2) どんな部活動をしているか知っている

とても 43、やや 23、どちらとも 2、わからない 1

保護者がどんな部活動をしているかを知っている割合は95.7%。ほとんどの保護者が子どもたちの様子を把握しているようである。

休養・睡眠は十分である

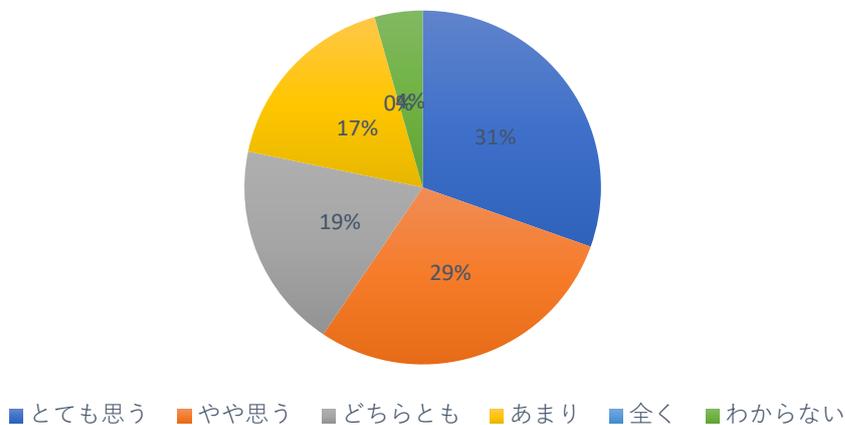


(3) 休養・睡眠は十分である

とても 25、やや 27、どちらとも 11、あまり 6

休養・睡眠が十分であるとの回答が 75.4%。生徒へのアンケートでは、「平日・休日ともに活動している」との回答が多かった。また、「悩みはないか？」に「疲れ」40 や「休日が少ない」15 の回答があったので、今回保護者に確認した。なお、「思わない」が 6 あるが、これは、部活動やクラブ、そして勉強などと普段から忙しい子どもの姿を見ているからかもしれない。

顧問（先生）の指導は適切である

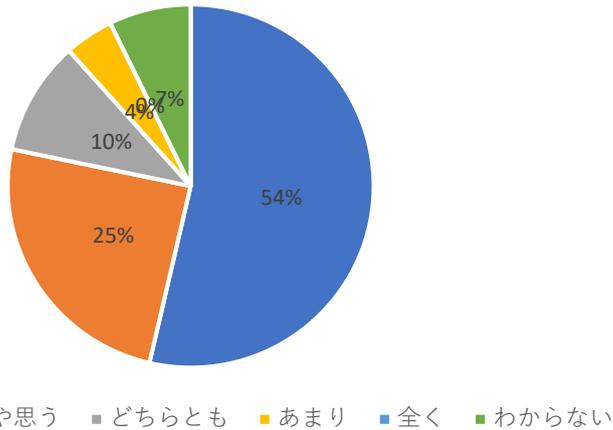


(4) 顧問（先生）の指導は適切である

とても 21、やや 20、どちらとも 13、あまり 12、わからない 3

「適切」が 59.4%だが、「思わない」も 17.4%の回答となっている。先生へのアンケートの結果から、専門種目以外の部活動に携わる立場にあるのが 80%であった。また、指導状況のアンケート結果でも、約 30%が「指導できていない」との回答で、この辺りが教職員の働き方改革への要因とも結びつくようである。

外部指導者（コーチ）の指導は適切である

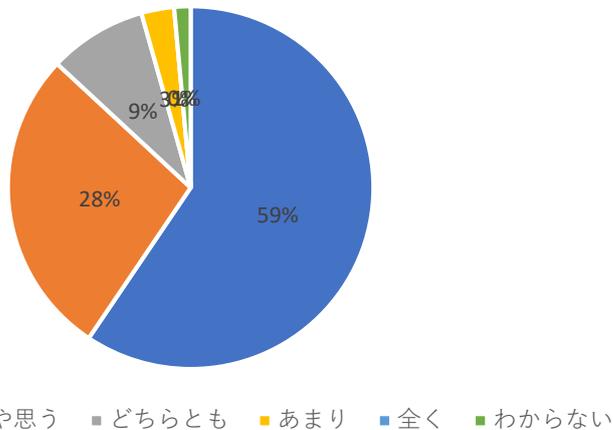


(5) 外部指導者（コーチ）の指導は適切である

とても 37、やや 17、どちらとも 7、あまり 3、わからない 5

「適切」が 78.3%を占めた。指導者アンケートでは「やりがいをもって部活動指導に取り組んでいる」と指導者全員が回答していた。また、「あまり思わない」が 3 (4.3%) であることから、外部指導者は保護者から評価されているといえる。やはり、自ら進んで指導していることもあり、その心構えや態度は子どもたちの手本となっている。

平日の日数は適切である

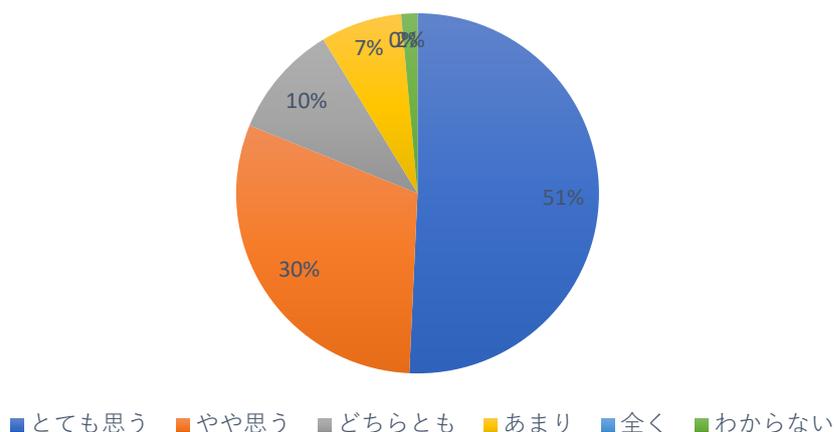


(6) 平日の日数は適切である

とても 41、やや 19、どちらとも 6、あまり 2、わからない 1

「適切」が 87.0%。南関中学校運動部活動の指針及び南関中学校部活動実施規定では、「平日 1 日以上の日数」と定めており、今回のアンケートの結果からもそれが妥当であるといえる。

平日の時間は適切である

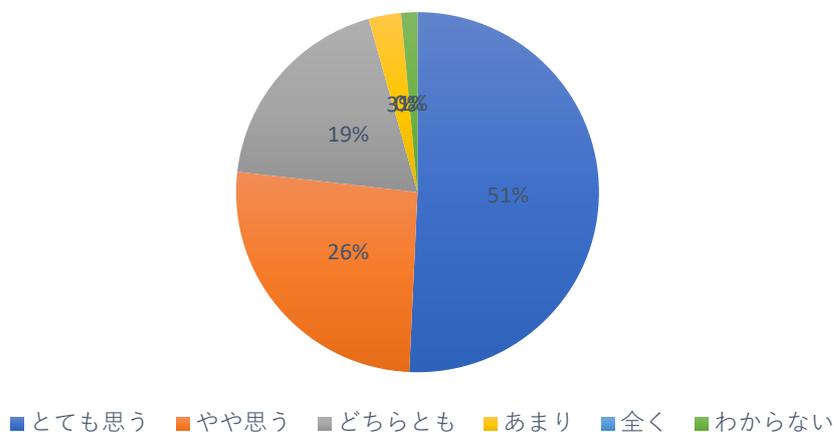


(7) 平日の時間は適切である

とても 35、やや 21、どちらとも 7、あまり 5、わからない 1

「適切」が 81.2%。前問と同様、指針や規定では「2 時間程度」と定めており、適切であるといえる。生徒へのアンケートでは、「1 時間から 3 時間未満」が理想と 96.6%を占めた。このことから「あまり思わない」5 (7.2%) は、もう少し長くさせたい意見ではないかと推測する。

休日の日数は適切である

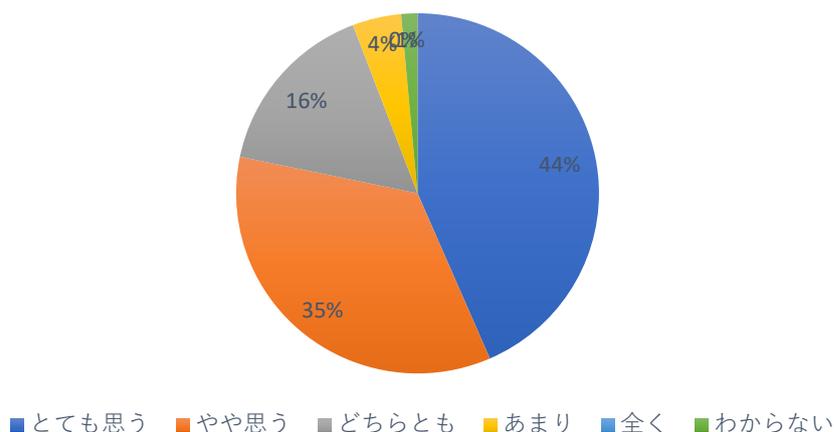


(8) 休日の日数は適切である

とても 35、やや 18、どちらとも 13、あまり 2、わからない 1

「適切」が 76.8%。休日についても指針や規定では「1 日以上 of 休養日」としている。生徒アンケートでも「いずれか 1 日」が 72.9%を占め、続いて「しない」が 16.9%。保護者の結果からは適切であると判断できる。

休日の時間は適切である



(9) 休日の時間は適切である

とても 30、やや 24、どちらとも 11、あまり 3、わからない 1

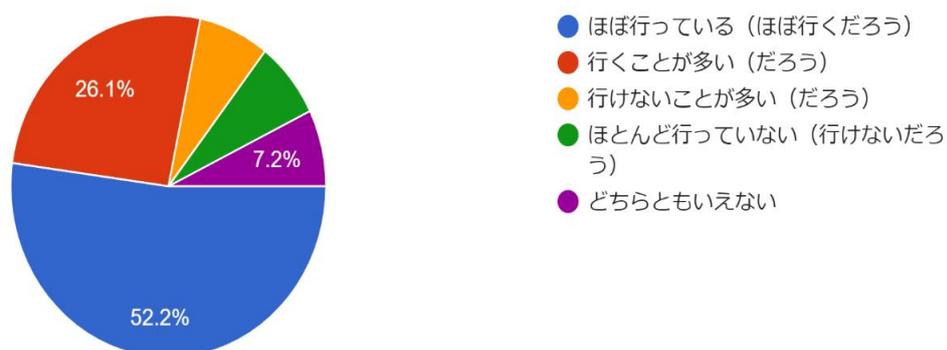
「適切」が 78.3%。指針や規定では、「長くとも 3 時間程度」と示している。生徒アンケートの理想の活動時間では、「2 時間から 3 時間まで」49.2%、「1 時間から 2 時間未満」22%、「3 時間から 4 時間未満」13.6%であった。

コロナ禍で試合・発表などの応援が制限されていますが、

規制がなくなり自由に応援・観覧できるとしたら

子どもさんの試合や発表の場などに応援・観戦などに？

69 件の回答



問 4 試合や発表の場の応援・観戦は？

ほぼ行く 36、行くことが多い 18、行けないことが多い 5、行けない 5、どちらともいえない 5

「行く」78.3%に対し「行けない」も 14.5%。応援や観戦が子どもたちの力になることは言うまでもない。仕事などで、行きたくても行けない場合もあるが、できる限り子どもたちの求めに応えていただきたい。

学校以外の場所での活動があるとき、送迎などは？

69 件の回答



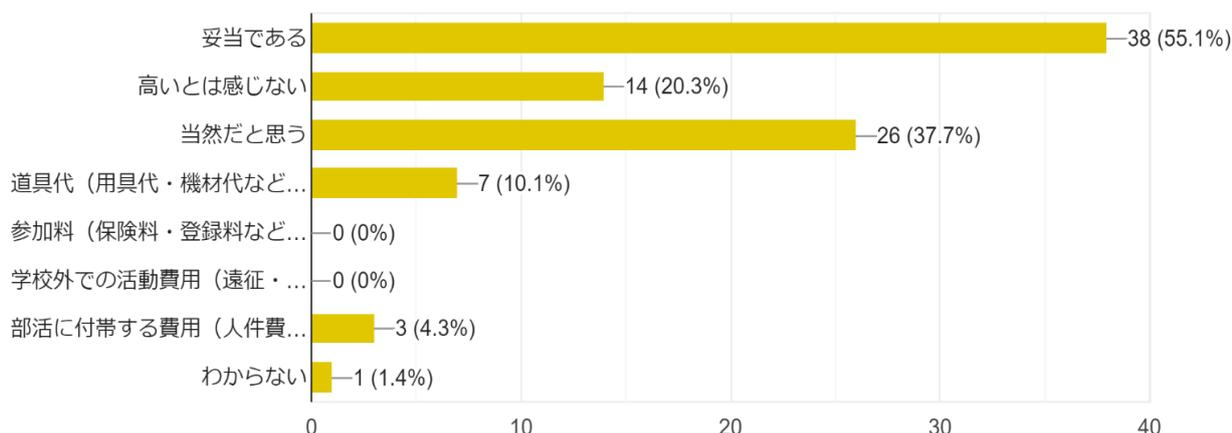
問 5 学校以外の場所への送迎

積極的に行く 50、当番のみ行く 9、行けないことが多い 5、全く行けない 0、どちらともいえない・わからない 5

「行くことが多い」が 85.5%。子どもの送迎については、保護者が携わらなければならないとの認識がうかがえた。現在でも保護者の送迎が必要だが、部活動が地域へ移行した場合も保護者なしでは活動できない。特に「当番以外でも行く」との回答が 72.5%を占めているのは頼もしい限りである。前問のとおり保護者が行けないとして、関係者や所属部の保護者などが応援・観戦してくれれば士気が高まるであろう。

部活動を行ううえでは、道具代や参加料などの費用...います。その費用負担について？（複数回答可）

69 件の回答



問 6 部活動に関する費用負担について（複数回答可）

妥当である 38、高いとは感じない 14、当然だと思う 26、道具代などが高い 7、参加料などが高い 0、活動費用が高い 0、人件費などが高い 3、わからない 1

部活動をするうえでの費用負担については、「必要な費用である」が 78 件。道具代については、加入する部活動によって差があるようだ。今後、地域部活動へと移行するにあたり、人件費等が生じてくる可能性がある。

自由記述 1 部活動が地域に移行することについての思いや意見などがあれば

- ・文化系の活動が増えることを期待する
- ・活動場所は自転車に通える範囲で
- ・送迎や月謝などが心配
- ・学校での部活動のままだが良い
- ・地域に移行してもこれまで通り、学校での活動を希望する
- ・学校での活動は時間が限られているので、有意義な活動にできる
- ・顧問の先生の負担が大きく、地域へ移行すべきである
- ・その部活動未経験の先生が顧問をされるより、その部活で活躍されていた指導者に見てもらえる方が力になる
- ・学校での部活動体制がなくなると、学校部活動に伴う友人関係や思い出などがなくなり、さみしく思う
- ・先生方の負担軽減になるのはいいことだ
- ・外部コーチの負担にならないように保護者も協力していくべきだ
- ・よい指導者（質も人数も）の確保はなかなか難しいのでは
- ・有能なコーチ（コーチのレベル）が所属すればよい
- ・新しい現在の考え方を持つ（若い）コーチに任せたい

自由記述 2 部活動に求めるものは？

- ・体力強化。体力づくり
- ・他者への配慮。先輩後輩、先生や指導者など礼儀を考え行動すること
- ・地域の仲間と目標に向かって活動すること。団結する喜び。チームワーク。文武両道の実践
- ・結果も大切だが、過程を重視してもらいたい
- ・体力。忍耐。体力向上。社会性、協調性、努力すること。仲間達と高め合う空間
- ・あいさつ、礼儀、精神面等の成長。心身の成長
- ・自分への向上心を高める場づくり。礼儀、仲間、上下関係。道具を大切に使うこと
- ・子供達が自由に楽しくできればいい。子供が楽しく活動できること
- ・みんなで同じ方向を向いて練習すること
- ・多感な時期を孤立せずに関心を持って健全に育ててほしい
- ・スポーツの楽しさをおぼえ、そのスポーツを好きになり、生涯を豊かにしてくれる
- ・自分で考え、自分を見つめ、工夫すること
- ・子どもがしたいものが選択できること
- ・学校での部活動を続けてほしい
- ・クラブチームに所属しているが、親の送迎等負担は大変なもの
- ・送迎ができれば家庭の子供さんのスポーツ振興の場を残してほしい

最後に

本年度は、南関中学校で地域部活動移行についての実践研究を行っている。その中で、アンケート調査を「生徒」「教職員」「指導者」と実施し、今回は保護者の回答を得ることができた。

今回は、保護者の気持ちを把握したい観点から、保護者がどのように感じるかを尋ねた。全体的に前向きな意見が大半であった。

地域部活動に移行する目的の一つが「先生の働き方改革」である。休日の部活動は、先生から外部指導者へ移行することになる。南関中学校で指導するコーチ（外部指導者）に対しては、今回のアンケート結果からも保護者は信頼している。コーチたちの指導に対する思い入れや一生懸命さも普段から見ることができ、当然の結果である。

部活動の活動日と活動時間について、平日と休日を尋ねた。南関中学校運動部活動の指針及び南関中学校部活動実施規定では、「平日1日以上、休養日・2時間程度の活動時間」、「休日は1日以上、休養日・3時間程度」と示されている。活動日・活動時間とも平日・休日とも適切であるとの回答がいずれも75%以上を占めた。

それから、普段の応援や観戦の頻度と送迎について尋ねた。これは、地域へ移行した場合、必然的に保護者の送迎が必要であると見込まれているからである。現在の状況はコロナ禍のため規制されているが、応援・観戦へは78.3%が行く。行けないは14.5%で、休日であっても保護者が仕事等ならばいたしかたない。送迎についても「当番以外でも行く」が7割を超えていた。

また、地域に移行するにあたり、費用負担の発生も予想される。学習塾やクラブ活動などと同じで、道具代のほか、指導者に対する費用、保険料などが必要だと思われる。

最後に2問の自由記述を設けた。地域に移行する思いや意見では、前向きな言葉が多く、中でも「保護者も協力していくべき」という答えは、これからの地域部活動への心構えだといえる。ここでも外部指導者への期待度が高い意見が多かった。

部活動に求めるものでは、人間の基本的要素（礼儀、あいさつ、協調性など）が多く寄せられた。生徒アンケートでの「部活動によって何かを得たか？」では、体力・技術のほか、人に関すること（友達、先輩後輩、先生）が272件あげられ、保護者が求めている要素を少なくとも一つ以上は習得できているようだ。

今回の保護者アンケートの結果から、現在実施している取組が功を奏しているようだ。生徒の51.7%がアンケートでは部活動を「楽しみたい」と答えている。さらに「人間的に成長したい」と12.5%が思っている。そのような部活動とするためにも、保護者との信頼関係が築かれた地域の指導者を活用し、「楽しく」「成長できる」地域部活動へと繋いでいかなければならない。生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の両立を実現するために取り組んでいく。

